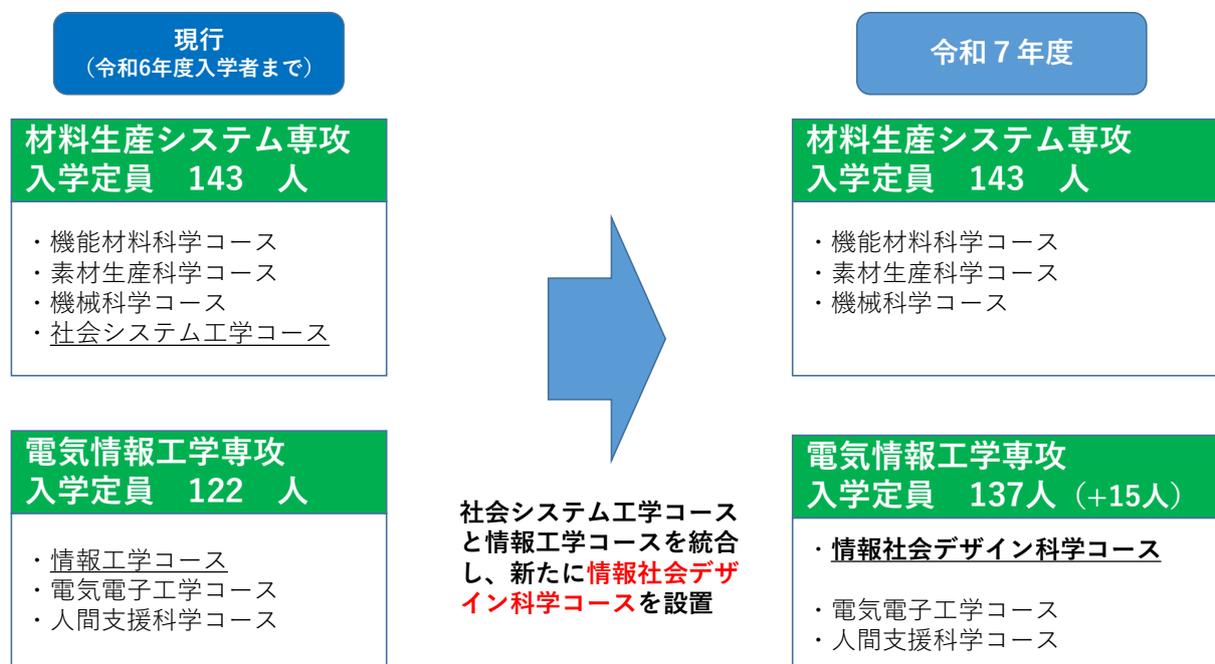


## 新潟大学大学院自然科学研究科博士前期(修士)課程電気情報工学専攻 情報社会デザイン科学コースの開設計画について

新潟大学大学院自然科学研究科では、令和7年度より、博士前期課程の電気情報工学専攻の入学定員を15名増員し、材料生産システム専攻及び電気情報工学専攻のコースの再編を計画しています。

電気情報工学専攻の「情報工学コース」と材料生産システム専攻の「社会システム工学コース」を統合し、電気情報工学専攻のもとに「**情報社会デザイン科学コース**」の設置(募集人員59名)を計画しています。

なお、入学定員の増員は文部科学省への概算要求事項となるため、今後変更となる場合があります。

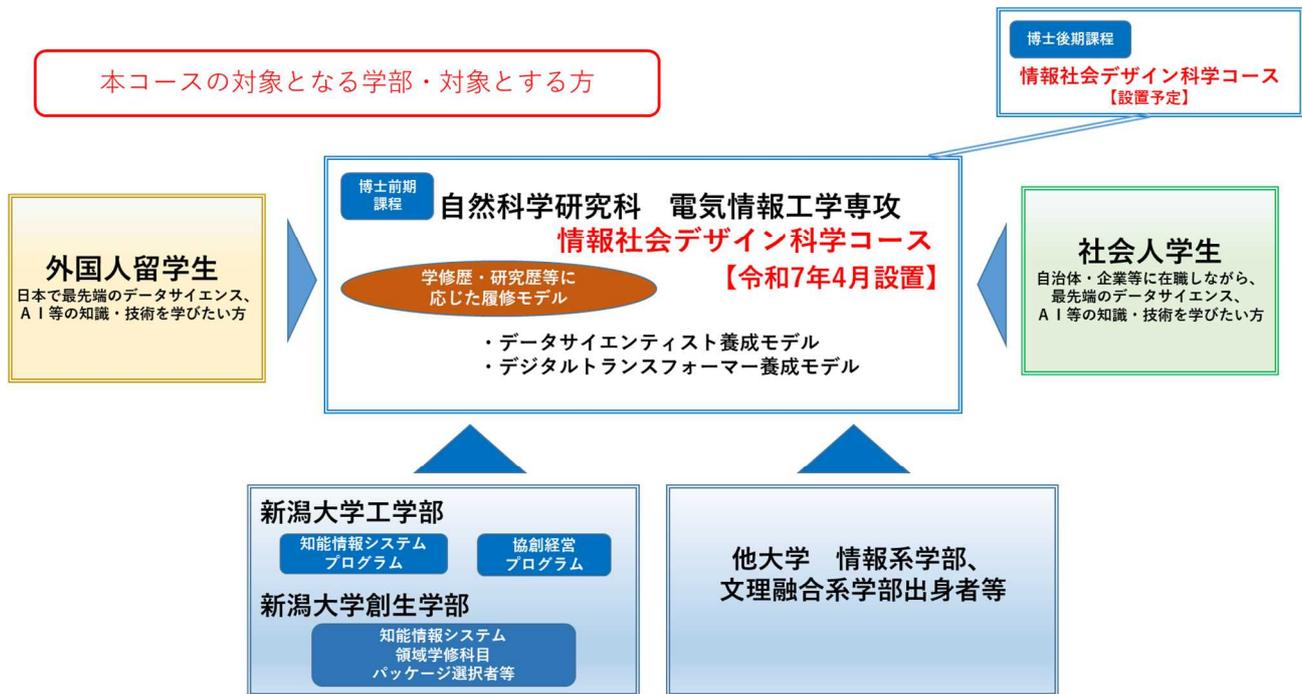


### ■ コースの概要

「**情報社会デザイン科学コース**」は、高度な情報通信、データサイエンス、デジタル技術、デジタルトランスフォーメーションを学んだ上で、自ら課題分析・目標設定ができ、様々な観点で検討を加え、解決方法を見出せる人材を養成することを目的としたコースです。

### ■ コースの特徴

「**情報社会デザイン科学コース**」は文理融合の要素を取り込み、情報工学を専門として学んできた学生や情報技術等を活用して社会やビジネスの課題解決のスキルを学んできた学生などを含めた様々な学生が同じコースで学ぶことにより、多様な観点で課題に取り組み、解決方法を検討することができる能力を養うことを目的としています。工学分野・文理融合分野の学生のみならず、データサイエンス、AI等の知識・技術の修得を目指す方の新たな学びの場とします。



「情報社会デザイン科学コース」は、未知の課題や未解決の問題に対して独自の研究による学術的な貢献を目指すデータサイエンティスト養成、および新たなAIやデータ分析手法のビジネスセクターやソーシャルセクターへの導入による社会貢献を目指すデジタルトランスフォーマー養成に関する教育研究を通し、これらを融合した能力を有する人材を輩出することを理念としています。

## ■ 取得可能な学位

修士(工学) または 修士(学術)

## ■ 想定される修了後の進路

- ・ IT 関連企業および製造業
- ・ 流通、金融、社会基盤・エネルギー関連企業
- ・ コンサルティング会社
- ・ 大学、研究機関
- ・ 行政機関
- ・ 博士後期課程への進学  
など

## ■ 入学者選抜方法

令和7年度一般選抜における試験実施科目は、以下を計画しています。

\*「英語」は必須です。出願時又は募集要項において別に定める期限までに提出する「TOEIC 又は TOEFL のスコア」により評価します。

**[令和7年度 第1次募集]**

専攻	コース	試験科目	試験内容等
電気情報工学	情報社会デザイン科学	研究計画書(事前課題)	大学院において取り組みたい研究や社会課題等の事柄について、社会的・学術的背景、目的、方法(計画)、見込まれる成果とその意義について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
		口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、大学院への進学理由、修了後の進路希望などについて確認します。なお、本コースにおいて学修する上で必要となる専門知識について問う場合があります。

**[令和7年度 第2次募集]**

専攻	コース	試験科目	試験内容等
電気情報工学	情報社会デザイン科学	研究計画書(事前課題)	大学院において取り組みたい研究や社会課題等の事柄について、社会的・学術的背景、目的、方法(計画)、見込まれる成果とその意義について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
		口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、大学院への進学理由、修了後の進路希望などについて確認します。なお、本コースにおいて学修する上で必要となる専門知識について問う場合があります。

※ 社会システム工学コース、情報工学コースにおける令和6年10月入学の学生募集は、従前どおりの選抜方法により実施します。

**[令和6年10月入学] 一般選抜における試験実施科目**

専攻	コース	試験科目	試験内容等
材料生産システム	社会システム工学	研究計画書(事前課題)	卒業研究等を経た上で認識した科学的・社会的課題及びその課題を解決するために大学院で取り組むべき事柄について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
		口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。 また、大学院への進学理由、修了後の進路希望などについて確認します。
電気情報工学	情報工学	研究計画書(事前課題)	大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景、目的、方法(計画)、見込まれる成果とその意義について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
		口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。 また、情報工学コースに関する専門知識について確認します。

令和7年度以降募集停止

詳細は、令和6年5月下旬公表予定の学生募集要項でご確認ください。